まちの話題
TOWN TOPICS

おいしい牛乳つくってね 四国中央市乳牛改良共進会 2/21（木）

うま農協アグリセンター（土居町蕪崎）で第37回四国中央市乳牛改良共進会（主催：四国中央市酪農振興会　鈴木満雄会長）が行われました。共進会には新居浜市、西条市を含めた3市から32頭の出品があり体型などにより審査が行われました。また会場には市内の幼稚園児約350人が訪れ、普段目にすることのない乳牛に驚いたり喜んだりしていました。

日本武道振興杯 チャンピオンカップ出場 3/6（水）

妻鳥碧結（あゆい）（土居小1年）さんが市長室を訪問し、3月24日(日)に兵庫県で開催される日本武道振興杯チャンピオンカップに出場することを市長に報告しました。妻鳥さんは大会に向けて「優勝目指して1回でも多く勝ちたいです」と話し、市長も「その気持ちを強く持って、ぜひ優勝してきてください」と激励していました。

社会福祉施設に備品を贈呈 四国中央地区労働者福祉協議会 2/20（水）

四国中央地区労働者福祉協議会（井上俊正会長）が、社会福祉法人光と風「地域活動支援センター土居わかたけ」に、施設での作業に使用するペーパードリルなどの備品20万円相当を贈呈しました。同会が毎年開催しているチャリティーゴルフ大会での募金をもとに社会貢献事業として行っているもので、今年で12回目となります。

ふるさとCM大賞えひめ‘13で入賞 「美味しいものと愛が…」～市民ディレクターズクラブ～ 2/24（日）

松山市総合コミュニティセンターで、愛媛朝日テレビによる「ふるさとCM大賞えひめ’13」の審査会が行われ、県市長会会長賞（3位相当）に選ばれました。これは、わが町自慢を30秒CMで競う映像の祭典で、今年は8回目の開催となります。今回四国中央市からは「美味しいものと愛が…」と題したCMを作成して出品しました。この作品は市民ディレクターズクラブ（土谷浩也会長）が中心となり、200人以上の市民が参加して制作されました。またオリジナルの振り付けはスタジオミューの藤田さんが手がけ、リズミカルで楽しい作品に仕上がりました。審査会には制作に関わったみなさんが参加し、CM作品をPRする舞台パフォーマンスを披露しました。

全日本アンサンブルコンテスト 都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会出場を報告～川之江南中学校～ 3/8（金）

全日本アンサンブルコンテストに出場する三鍋千紗都（ちさと）さん（川之江南中３年・写真左）、森井陽菜（はるな）さん（同中２年・写真左から２番目）、塩田健人（けんと）さん（同中２年・写真右から２番目）、秦泉寺萌加（もえか）さん（同中１年・写真中央）の吹奏楽部の４人と、都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会に県代表の選抜選手として出場する合田育美さん（同中２年・写真右）が市長を表敬訪問しました。

吹奏楽部の４人は３月20日（水）に岩手県で開催されたコンテストに四国地区代表として出場し優秀な成績を収め、また合田さんは３月20日（水）から東京都などで開催された大会で愛媛県代表として健闘しました。

ボランティアでツツジを植栽 ５月には見頃に～三島公園～ 3/9（土）

四国中央市三島観光協会（星川邦弘会長）が三島公園でヒドラツツジの植栽を行いました。苗木は同観光協会と公益財団法人愛媛の森林基金から市に約700本が寄贈されました。当日は、市民団体や市内の企業関係者ら約130人がボランティアとして参加しました。この事業は、平成21年から毎年行われており、これまでに約4100本が植えられました。毎年５月頃にはたくさんの花をつけています。

愛媛国体を目指して 西日本フェンシング大会上位入賞 3/5（火）

西日本フェンシング大会で上位入賞した村上万里亜（まりあ）さん（三島西中１年・写真中央）、登尾奈友（なゆ）さん（豊岡小６年・写真右）、白峰杏香（きょうか）さん（三島南中２年・写真左）が市長を表敬訪問しました。２月９日（土）･10（日）に和歌山県の和歌山ビッグウエーブで開催された2013西日本フェンシング大会で、村上さんはミニム女子フルーレの部で優勝、登尾さんはミニム女子フルーレの部で準優勝、白峰さんはカデ女子フルーレの部で４位の成績を収めたことを市長に報告しました。

市長杯朝日 S-1グランプリ2013 盤上の頭脳戦、知と創造の格闘技 3/10（日）

土居文化会館（ユーホール）で四国中央市長杯朝日S-1グランプリが開催されました。大会は７つの階級で行われ中四国を中心に約200名の参加者が盤上の頭脳戦を繰り広げました。最上級のS-1では今年度全国学生チャンピオンで招待選手の中川慧梧さん（京都市）が優勝しました。また、森信雄７段と矢内理絵子女流４段による指導対局も行われました。

東日本大震災復興支援 桜ライン３１１の活動に参加 3/9（土）

東日本大震災の津波到達点に桜を植栽し、今回の大災害を後世に伝えようとする取り組みが「桜ライン３１１」です。これまでに市内でもこの活動を支援する募金活動が続けられていましたが、今年の植栽に市内のボランティアが参加しました。悲惨な災害を記憶に残し、１日も早い復興を願いながら突風の中作業に汗を流しました。

心を込めて桜を植栽 新塩塚千本桜 3/16（土）

塩塚高原付近で、新宮塩塚千本桜植栽が行なわれました。この事業は四国中央市観光協会（星川邦弘会長）の呼び掛けで行われ、３年目となる今年が最後の植栽となり、植えられた桜の総数は1000本を超えました。参加者は「自分たちの子や孫がこの桜を楽しめる、そんな場所になってほしい」願っていました。

加圧式小型給水車を導入 災害時などの応急給水に対応 3/11（月）

市水道局は、災害時や断水時の応急給水に対応するため約900万円をかけて、加圧式小型給水車を導入しました。この車両は、1700リットルの給水タンクを積載し、ポンプ動力で25ｍの高さまで給水（揚水）できる加圧式となっています。災害時には約600人が必要とする１日分の飲料水を運ぶことができます。

全国大会出場を報告 川之江ボーイズ 3/19（火）

松山市で開催された第43回日本少年野球春季大会予選において、川之江ボーイズクラブ（篠原正行代表）が準優勝したことを市長に報告し、市長は「ぜひ、優勝してきてください」と激励の言葉を述べました。同クラブは３月30日（土）から福岡市で開催される第11回日本少年野球西日本選抜優勝大会に出場します。

愛媛国体に向けて 準備委員会設立発起人会を開催 3/14（木）

福祉会館で第72回国民体育大会四国中央市準備委員会設立発起人会が行われました。これは、市準備委員会設立のための母体となる組織です。同会には、井原市長を始めとする５人の発起人を含む11名が出席し、国民体育大会の概要や愛媛国体開催に向けた四国中央市のスケジュールなどについて話し合われました。

市民文化ホールシンポジウム＆市民吹奏楽団ジョイントコンサート 365日にぎわう市民文化ホールを目指して 3/17（日）

福祉会館４階多目的ホールで、市民文化ホールシンポジウム＆スプリングジョイントコンサートが開催されました。まず市民文化ホール基本設計の内容説明があり、その後四国中央市民吹奏楽団と三島高校吹奏楽部によるスプリングジョイントコンサートが開かれ、最後に「365日にぎわう市民文化ホールをめざして」と銘打ったパネルディスカッションが行われました。

内容説明では、スライドを使ってわかりやすく、また動画も交えながら説明されました。ジョイントコンサートでは、高校生らが市民文化ホールに対する期待や考えを交えながら演奏が行われ、集まった観客はその演奏に耳を傾けていました。パネルディスカッションでは、コーディネーターの進行のもと、市民を代表して４名の方が登壇し、それぞれの立場からの文化ホールへの思いや期待などを込めた議論が交わされました。